

# 令和 2 年度 事業報告書

(第 10 期)

一般社団法人グローバル人財サポート浜松

令和 3 年 6 月 23 日

## 在住外国人支援

### 1. 介護職員初任者研修 ※かめのり財団助成事業

在住外国人を対象にした介護職員初任者研修を開講した。新型コロナウイルスの影響で失職した外国人に対してかめのり財団の助成事業として支援を受けた。

第1期 令和2年5月18日～令和3年1月28日（全16回）

隔週土曜日 9:00～16:00、通信制

フィリピン出身者9名が修了



### 2. ~~技能実習生（介護）のための日本語教育~~ ※コロナの影響で実施せず

介護職種で来日する技能実習生の受入れ教育を担当。グローバル介護福祉事業協同組合と連携し、介護講習と日本語教育を請け負う。

期間 令和2年7月～

対象者 フィリピン人介護職員候補生6人

※グローバル介護福祉事業協同組合は事業継承を行い、東京の事務所へ移管。これに伴い、6人の候補生は当法人で面倒を見ており、現在オンラインチャットクラスを実施し、日本語学習支援を行っている。

### 3. 地域に資する日本語学校の社会的合意形成と日本語教育人材の育成カリキュラム開発事業（文化庁委託事業）

浜松市ではボランティアの育成に努めてきているが、日本語教師の研修は特定の教材研究を対象としたものや単独学校での開催がほとんどである。こうした状況から、新設日本語学校と社会のステークホルダーを繋ぎ、教師間だけでなく組織間ネットワークを構築し、外国人への日本語教育の質の



向上を目指した研修プログラムを開発。またこれらの活動を通して日本語学校の社会的意義を明確にしていく道筋を作ることを目的とした。

事業報告会の開催：本事業の総括と総評を踏まえ、さらに受講者である初任者教員のリカレント教育の一貫として報告会を開催した。

事業期間 令和2年4月1日～令和3年3月20日

報告会 令和2年12月19日（土）

連携機関 TLS 日本語学校、湘南日本語学園浜松校

報告会 参加者35名

登壇者 西原鈴子（運営委員）、石川彰吾（運営委員）、坂部果歩（受講者）、石崎みづき（コーディネーター） ※敬称略

## 4. 日本語教育

### ① 企業向け日本語教室

坂下製作所株式会社、平野ビニール工業株式会社、常盤工業株式会社にて従事している外国人労働者のための日本語教育を実施。今年度は新たに開発している日本語教材を活用し、短期でも確実に日本語能力を習得することができる工夫を行なっていく。また、企業の要望で、日本語能力試験合格を目標に、テスト対策や文化理解も行なった。平野ビニール工業（N3 3名 N4 2名）、常葉工業（N3 1名）の日本語能力試験の受験者は合格をした。

- 株式会社坂下製作所 毎週月曜日  
17:15～18:45 全3期（45回）
- 平野ビニール工業株式会社 毎週  
金曜日 17:30～19:00 全3期（45  
回）
- 常盤工業株式会社 隔週水曜日  
（全24回）



### ② ~~日本語能力試験対策講座（アトムジャパン）※コロナの影響で実施せず~~

静岡県にいる外国人技能実習生約150人を対象とした日本語能力検定試験対策講座を年2回（春・秋）に開催する。とりわけ、静岡県東部地域の外国人技能実習生向けには、日本大学国際関係学部で日本語教員養成課程を受講している大学生の現場視察研修とし、講師アシスタントを体験できるようにする。

西部会場 研修交流センター 6月、11月

東部会場 プラサヴェルデ 6月、11月

### ③ <コロナ補助金事業>在住外国人労働者のためのオンライン日本語教育（浜松市補助金）

新型コロナウイルスの影響により失職を余儀なくされた浜松市内在住の外国人労働者やその家族が失業期間に日本語能力を高めることにより、再就職先であ

る地元企業の即戦力となることを目的とし、オンラインで日本語を学べる環境を整備。また、これにより企業内での日本語教育や海外で来日前に日本語を学ぶ必要のある外国人に向けた日本語教育を広く提供していく。

「ナラティブで学ぶ日本語160時間」をベースに制作した。

期間 令和2年6月5日～令和3年3月31日

オンライン日本語学習コース <https://nihongo160.com/>

#### ④ オンライン日本語チャット

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、来日できずにいる外国人技能実習候補生（フィリピン人）を対象に、静岡文化芸術大学や日本大学の学生有志が日本語を使って会話練習をする機会を創出した。外国人の日本語学習のサポートと来日のモチベーションを維持することを目的とする。

期間 令和2年4月～令和3年3月

#### 5. 外国人介護職員就業開拓コーディネーター事業（静岡県介護保険課）

県内の介護事業所を対象に、外国人の介護ワーカーを受け入れるにあたり不安に感じていたり、悩んでいたりとすることなどを解消することを目的にコーディネーターを派遣し、課題解決をしていく。また、外国人介護職員の受け入れにあたり、事業所の現場の職員や管理職を対象にした講習に講師を派遣して、出張出前講座を行った。新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、オンライン会議の活用で相談を行うことも可能とした。

期間 令和2年6月3日～令和3年3月18日

対象 県内の介護事業所（介護職員派遣業者は除く）

内容 コーディネーター派遣、出前講座への講師派遣、オンライン会議相談



6. <新型コロナに関する委託事業>令和2年度新型コロナに負けない外国人  
生徒未来応援事業（静岡県多文化共生課）

外国人学校（ブラジル人学校高等部）に通う生徒を対象に、「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」を行うことにより、卒業後の正規雇用へつなげる。生徒の就職先が決まるも派遣社員の方が給与がいいことや日本の就職までの手順に長い期間がかかることを理由に保護者が反対をして就職できなかったケースもあり、正規雇用にもつなげた保護者の意識改革が必要であることを痛感した。

期間 令和2年11月4日から令和3年3月12日

● イーエーエス浜松校

期間：11月26日（木）～2月26日（金）

参加者数：239人

日本語教育：延べ人数169人（日本語1クラス109人、日本語2クラス40人、日本語3クラス120人）

キャリア教育：延べ人数68人

インターンシップ参加者数：3人

就職：3年生1人（谷野ファーム）、2年生1人（セブンイレブン）

● エスコラ・オブジェチーボ・デ・イワタ

期間：12月14日（月）～2月22日（月）

参加者数：56人

日本語教育：延べ人数35人（日本語1クラス13人、日本語2クラス22人）

キャリア教育：18人

インターンシップ参加者数：3人

就職：卒業生1人（セブンイレブン）



<sup>1</sup> 日本語3クラスは、EASのみ日本語レベル上級者向けに12月のみ計3回で実施。

## 次世代育成事業

### 1. 学生ボランティアセンター事業（学生 FRESH 事業）

学生ボランティアセンターでは、浜松市内で社会貢献活動に励む大学生のボランティア団体を対象に、学生個人の知識や団体の質の向上を目指し、より良い浜松の未来のためにネットワークを構築し、課題や情報の共有を図った。静岡大学、静岡文化芸術大学、浜松学院大学、聖隷クリストファー大学、静岡産業大学、静岡理工科大学、浜松医科大学の学生団体が参加。年 5 回のオンライン会議と学生ボランティアネットワークフォーラムを実施。4 月～5 月の連休中には新一年生の大学生活を支援するため、オンラインでの居場所づくりを行った。フォーラムでは、元 FRESH のメンバーである卒業生の参加があるなど、先輩後輩の交流も深められた。



その学生ボランティアセンターの運営に携わる学生団体 FRESH の顧問として代表理事が携わるほか、当法人が学生 FRESH の活動支援を行った。

学生ボランティアフォーラム 令和 3 年 2 月 21 日（日）開催

### 2. 学生団体支援事業

#### ① Wide International Support In Hamamatsu (WISH)

新型コロナの影響でメイン事業（ぴよぴよクラス他）実施せず

外国につながる子どもたちが小学校への入学に適応するよう学校模擬体験を行う外国籍児童就学前学校体験教室「ぴよぴよクラス」と就学後に小学校の授業に入り込み子どもたちの学校生活の支援を行う「SAT」を実施している学生団体（静岡文化芸術大学と静岡大学、浜松学院大学の学生により構成）の活動を指導・支援する。しかし、新型コロナウイルス感染拡大のため、大学生が小学校に入ることができず、いずれの事業も開催は中止した。一方、小学校の生活をイラストや授業で紹介する動画を制作し、YouTubeで放送した。

## ② HANDs

### 新型コロナの影響でメイン事業（フィリピン渡航）実施せず

浜松ダバオ友好協会と協働し、浜松から鍵盤ハーモニカをダバオ市の学校に寄贈し、音楽交流を深めるプログラムを実施。HANDsは浜松市内の大学に通う主に静岡文化芸術大学の学生たちによって構成。鍵盤ハーモニカの収集、音楽交流プログラムを企画運営するだけでなく、実際にダバオ市を訪問し、フィリピン文化を体感することを目的としてフィリピン研修を行う。また、学校間の音楽交流ができるようインターネットを活用して、両都市の学校をつなぎ、演奏会を開催する。帰国後は写真展を開催



し、事業報告を広く行う予定であったが、このプロジェクトも新型コロナウイルスの影響で渡航ができず、鍵盤ハーモニカはブラジル人学校「チアホーザ」に寄贈。20台を贈り、音楽活動やブラジル料理の体験、ブラジル人児童との交流を行なった。

### 3. 日本語教師研修

日本語教師を志している人や日本語教師<初任>の人を対象に、「ナラティブで学ぶ日本語 160 時間」生活者から労働者まで在留資格を問わず日本語教育を行うことのできる人材を育成するための研修を行い、企業内日本語教室や海外での日本語教育に携わることのできる人材を輩出していくことを目的とした。

期 間 令和2年10月28日～11月25日

参加者 15名（うちミャンマーから2名が参加）

## その他、事業

### 1. 視察受け入れ・講師派遣事業

JICA の調査研究や大学院生の研究等のために当法人の事業視察受け入れやインタビュー引き受けを行なった。講師派遣はエイチアールが受諾し、その庶務対応等を社団が行う流れで実施していった。エイチアールでは、明光ネットワークジャパンより教材開発の業務を委託した。

講師派遣実績：かめのり財団、国際交流基金、静岡大学、三重大学、山形県国際交流協会、聖隷福祉事業団（静岡県委託事業）

### 2. 有料職業紹介事業

有料職業紹介事業所の許認可を厚生労働省から受けた。今後、介護職員初任者研修受講者（修了者）を対象に事業展開を図っていく予定であるが、令和2年度は認可を受けるまでとなった（認可は令和3年1月31日付）。

### 3. その他

#### ① 情報提供事業

ホームページや Facebook を活用して、当法人の活動に関する様々な情報を提供し、雑誌や新聞の取材を受け入れ、活動の意義や社会的課題を発信した。また、積極的に SNS での広報を行なった。

#### ② 浜松ダバオ友好協会 ※新型コロナウイルスの影響で活動休止

これから受け入れを始めようとしているフィリピン出身の外国人材にとって、浜松市がより魅力的な街であるように、浜松ダバオ友好協会の運営に参画したが、新型コロナウイルスの影響のため、活動が休止されていた。

### ③ 図書の販売

外国人技能実習生や特定技能の外国人向けに「みんなの介護」や日本語教育の教材の販売促進に協力する。

### ④ ナラティブで学ぶ日本語 160 時間オンライン学習コースの開設

オンラインで学ぶ日本語学習コースをリリース。いつでもどこからでも日本語を学ぶ環境整備を行い、一般提供を始めた。

<https://nihongo160.com/>



The screenshot shows the homepage of the website. At the top right, there is a language selector set to 'English'. The main heading is 'ナラティブで学ぶ日本語160時間'. Below it, there are navigation links for 'Home', 'Register', and 'Login'. The main content area features the title 'ナラティブで学ぶ日本語160時間 オンライン学習コース' and 'NIHONGO 160hrs On-line Learning Course'. A descriptive paragraph in Japanese and English explains that the course is based on 'Narrative Japanese 160 Hours' and is designed for learning introductory level Japanese conversation through listening to narratives, speaking together, and learning grammar.